

## 4 生涯学習推進体制づくり

「自己を高め、豊かに生きる生涯学習」、「人をつなぎ、地域をつくる生涯学習」、「未来を築く生涯学習」の各施策を行うには、しっかりと下支えする体制の構築が重要となります。

生涯学習社会の実現のためには、学校教育や社会教育等を担う教育委員会と、福祉、環境、スポーツ、文化、防災、労働、地域振興等に関わる関係部局との連携はもとより、市町村、大学等高等教育機関や企業等、多種多様な関係機関・団体と連携・協働しながら、総合的かつ計画的に取組を推進していく必要があります。

本県では生涯学習を全庁的に推進するため、愛知県生涯学習推進本部を設置しており、各種施策の調整や協力をしながら効果的な施策の展開に努めています。

また、県民の方が生涯学習に関わる情報を簡便に利用できるよう、生涯学習に関する総合ポータルサイト愛知県生涯学習情報システム「学びネットあいち」を整備し、情報発信機能の向上を図るとともに、学習成果の活用機会や学習方法等に関する県民の多様な相談ニーズに応えられる相談体制の充実を進めています。

### (1) 生涯学習推進体制の充実

#### 【現状と課題】

- 生涯学習関連施策を総合的に推進するため、県の関係部局による横断的な組織として、知事を本部長とする愛知県生涯学習推進本部を1995年度に設置し、全庁的な取組体制の下に生涯学習施策を推進してきました。また、2012年度には、愛知県生涯学習審議会の下に社会教育分科会を設置し、生涯学習と社会教育が相互に緊密な連携をもって推進できる体制の構築を図っています。
- 社会が急速に変化する中で、生涯学習に関する課題の複雑化・高度化に的確に対応するため、生涯学習について関係する部局間の共通理解を深め、より効果的・効率的な施策の展開を図ることが必要です。

#### 施策の展開

#### ○ 生涯学習推進本部等の開催

- ・ 生涯学習推進本部及び幹事会を開催し、事務局である教育委員会が中心となって、計画における施策の進行管理を行いつつ、各関係部局における生涯学習関連施策の企画・立案・実施の各段階において連絡調整を緊密にするなど、より効果的・効率的な施策の推進に努めます。

- ・ 生涯学習審議会及び社会教育分科会を開催し、計画における各主体の取組状況を示すとともに、生涯学習関連施策の総合的な推進に関する意見を求めていきます。

## (2) 学習情報の提供と相談体制の充実

### 【現状と課題】

- 本県の生涯学習推進のための中核的施設である愛知県生涯学習推進センターは、県民及び市町村への支援策として、学習情報・学習機会の提供、指導者育成、生涯学習に係る講師・ボランティア人材バンクの整備などを行い、生涯学習に関する施策を広域的・専門的に推進しています。
- 愛知県生涯学習推進センターは、事業分野に応じて、市町村、学校、大学等高等教育機関、NPO、民間教育事業者、企業等との連携・協働をコーディネートする機能を一層高め、情報提供、人材育成、学習機会の提供など様々な事業分野で充実を図ることが課題となっています。  
また、そのためにも社会教育士等、専門的な知識を持った職員の育成が重要となっています。
- 2021年度に実施した県政世論調査の結果によると、生涯学習を行おうとしたとき、「必要な情報（内容・時間・場所・費用）がなかなか手に入らない」と回答した県民の割合が23.9%であり、県民の学習ニーズが高度化・多様化する中、学習者が必要とする学習情報を常に提供するため、提供サービスの質と量の充実が求められています。
- また、学習成果を生かしていない理由の調査では、「まだ活用できるレベルに達していない」と回答した県民の割合が45.7%、学習成果を生かした「活動を行う意欲はあるが、やり方や方法が分からない」が18.2%であり、県民の学びを生かした社会参加、社会貢献を推進するためにも、学習成果を生かす方法や機会など学習者のニーズに応じた専門的な相談体制を充実することが必要です。

### 施策の展開

#### ○ 生涯学習情報システム「学びネットあいち」の充実

県や市町村、大学等高等教育機関などの生涯学習機関・団体等有する生涯学習に関する情報を一元的に提供する生涯学習情報システム「学びネットあいち」を運営し、情報提供を行います。

「学びネットあいち」については、誰にとっても分かりやすく使いやすいシステムとなるよう随時、改良を加えるとともに、情報提供機関数や学習情

報の収録数の増加を図り、情報提供機能の向上を図ります。

### 「学びネットあいち」の情報登録内容（2022年3月末現在）

- ・ 学習情報件数  
9,030件  
講座・イベントや施設、講師、ボランティア、Web教材等の情報を提供
- ・ 学べるWeb教材  
講座の様子を映した動画等Web上で学習ができる教材を提供
- ・ メールマガジン  
おすすめの講座・イベント情報を毎月1日に配信
- ・ Facebook  
講座・イベントの様子等を配信
- ・ 情報提供機能数  
1,654機関



生涯学習マスコット  
「マナビイ」



「学びネットあいち」トップページ

## ○ 情報誌「まなびいあいち」の作成・配布・配信

生涯学習に関する講座・講習会、イベント情報、「学びネットあいち」情報提供機関やボランティアとして活動している団体・個人の紹介などをする情報誌「まなびいあいち」の作成・配付、Web版の配信により、県民への情報提供を行います。

## ○ 生涯学習に関する相談体制の充実

学校教育を終えてからの学び直しや学習成果のボランティア活動への活用など、県民の多岐にわたる相談ニーズに対応するため、学習プロセスや目的などに応じてきめ細かな助言・案内等ができる体制を充実します。また、中高年に対する学習ガイダンスや、急速に進展するICTを活用した最新の学習技法等の相談に応じられるよう、職員の資質の向上を図ります。

## ○ 多様な主体との連携

愛知県生涯学習推進センターは、様々な生涯学習関連機関・団体と積極的に連携・協働し、県内に集積する大学の教育資源を活用した社会人の学び直しや学習機会の提供方法の研究、大学・市町村との共同による専門的人材の研修プログラムの開発、NPO等と連携した学習成果の活用機会の提供などの施策を推進します。

## ○ 生涯学習の課題に対応した推進施策の展開

「自己を高め、豊かに生きる」、「人をつなぎ、地域をつくる」、「未来を築く」の各生涯学習の施策に応じて、庁内関係部局や市町村、生涯学習関連機関等との連絡調整を行うための体制づくりを進めます。

### (3) 生涯学習関連施設の充実

#### ① 愛知県図書館の充実

##### 【現状と課題】

- 様々な課題に対して自ら判断することが求められる現代社会においては、個人が多くの情報を得る必要があります。図書館は、保有する豊富な情報を手軽に入手できる「知の情報拠点」として、機能することが強く求められています。

##### 【施策の展開】

#### ○ 資料情報センターとしての情報の提供

図書や雑誌を始め様々な媒体による情報を収集し、県民の多様な学習活動や課題解決に応えます。また、レファレンスサービス<sup>1</sup>などにより、県民の資料・情報の活用を支援するとともに、生涯学習の場を提供します。

#### ○ 全県域への図書館サービスの提供

県内のどこでも図書館サービスが受けられるよう、県内の図書館への資料の貸出を行うとともに、市町村立図書館等職員研修や図書館の運営相談などを行い、市町村立図書館等のサービスの質的向上を図ります。

また、図書館を設置していない市町村には、求めに応じて図書館設置に向けての助言や、公民館等へ比較的まとまった冊数の図書を一定期間(長期間)貸し出す貸出文庫事業を実施します。

#### ○ 市町村立図書館と連携した活動の強化

市町村立図書館と連携した図書館サービスの展開を図るため、Aichi・LLネット<sup>2</sup>や県内横断検索「愛蔵くん<sup>3</sup>」、「県内公共図書館所蔵継続雑誌・新聞総合目録」、「遠隔地返却制度<sup>4</sup>」、「あいちラストワン・プロジェクト<sup>5</sup>」などの県図書館を中心とした県内公共図書館の情報ネットワークの構築と、物流ネットワークである資料搬送定期便の拡充に努めます。

#### ○ サービスの提供に係る利便性の向上

電子書籍やデジタルアーカイブの充実、オンライン利用登録の促進など、

<sup>1</sup> レファレンスサービス：利用者の問合せに応じたり、参考資料を提供したりする業務。

<sup>2</sup> Aichi・LL ネット：愛知県図書館の蔵書の検索や貸出予約ができるオンラインシステム。

<sup>3</sup> 県内横断検索「愛蔵くん」：インターネットで県内公立図書館等の蔵書検索が一括して行えるシステム（48市町村と3専門図書館が参加）。

<sup>4</sup> 遠隔地返却制度：愛知県図書館で借りた資料を地元の図書館で返却できる制度。2012年度から実施。対象自治体は、東三河地区（豊橋市、豊川市、蒲郡市、新城市、田原市、設楽町、東栄町、豊根村）、西三河地区（岡崎市、碧南市、豊田市、安城市、西尾市、高浜市、幸田町）、知多地区（半田市、常滑市、阿久比町、南知多町、美浜町、武豊町）の21市町村。

<sup>5</sup> あいちラストワン・プロジェクト：県内で1図書館のみが所蔵する資料を希少資料と定義し、資料が将来にわたって確実に保存され利用するための取組。2014年10月から実施。2022年3月末で48市町村が参加。



ICTを活用し、来館しなくとも提供が受けられるサービスの充実を図るほか、視覚障害の人を対象に対面朗読サービス、録音図書の作成、録音図書・点字図書の貸出を行うなど、全ての人がサービスを受けられるよう利便性を向上します。

## ○ 充実した資料収集

図書館が提案する本等を県民や法人等が新たに購入して寄附する制度「あいちBookサポーター」により、図書館で重点的に収集している分野（ものづくり文化、健康医療、地域資料等）について更に資料を充実させます。

## ② 美浜自然の家、旭高原自然の家、野外教育センターの充実

### 【現状と課題】

○ 美浜自然の家、旭高原自然の家、野外教育センターでは、豊かな自然環境の中で青少年等が規律正しい共同生活を送りながら、スポーツ・野外活動、宿泊研修などを通じて、健全な青少年や社会人を育成しています。

青少年の自然体験、社会体験、生活体験などの体験が減少している状況を踏まえ、各施設ではその立地条件や施設の特性を活かした運営を行い、家庭や学校では体験できない活動を提供しています。

しかしながら、学校利用の少ない秋・冬は利用者数が落ち込むことに加え、学校職員の働き方改革における行事の見直し等の影響により、学校利用も減少傾向にあるため、多彩で魅力的な事業や体験プログラムを実施し、利用促進を図る必要があります。

また、施設は、開所以来大規模な改修を行っておらず、非バリアフリー構造、設備の老朽化等の課題を抱えているため、時代のニーズに応えるよう、必要な施設・設備の充実を図る必要があります。

### 施策の展開

## ○ 施設の特性を活かした事業の提供

施設の立地や設備を活かした、自然体験活動や親子のふれあいなどをテーマとした事業を開催し、利用者の増加を図るとともに、様々な学習機会の提供に努めます。

## ○ 多彩な体験学習プログラムの提供

地元自治体、地元団体（漁業協同組合、森林組合、周辺施設等）と連携・協働することで、より多彩な体験活動を推進します。

また、野外活動を学校の授業時間数に含めることができるよう、教科や総合的な学習を取り入れたプログラムの開発に取り組み、学校利用を推進します。

## ○ 学校関係以外への研修機会の提供

施設には、野外体験活動を行う施設のほかに、体育館・研修室等も充実しています。このため、大学等のゼミ合宿や企業等の社員研修など、新たな利用団体を開拓し、利用者のニーズに沿った研修機会を提供します。

## ○ 施設・設備の整備

時代のニーズに即した必要な施設・設備の計画的な整備を図ります。

## ③ 愛知県美術館の充実

### 【現状と課題】

- 愛知県美術館では、美術の多様な領域や時代・地域・作家を紹介する企画展を年間4回程度開催するとともに、約8,700点のコレクションの中から様々なテーマを設定して作品を展示するコレクション展を開催しています。著名な作家の作品だけではなく、幅広く美術の魅力を発信し、その可能性を広げていく必要があります。

### 施策の展開

## ○ 幅広い関心にこたえる企画展の実施

企画展は、美術の幅広い領域に目を向け、歴史に残る重要な美術動向や、優れた芸術家の回顧展、歴史に埋もれた作家の掘り起こしや新鋭作家の紹介、古典的・伝統的な形式のものからジャンルを越えた新しい制作活動まで、美術の持つ多様な姿とそれぞれの特質を、美術館独自の調査研究に基づいたテーマや今日的な視点による切り口で取り上げ、自主企画や他館との連携による共同企画などによって開催します。

## ○ コレクションの更なる充実

20世紀から現在に至る美術を収集方針の柱としているコレクションにおいて、未所蔵の著名作家はもちろん、近年見直しが進んでいる女性作家や、現代の新しい動きを示す作家など、より幅広く紹介できる収集を継続します。

## ○ 講演会・ギャラリートークなどの開催

講演会や作品解説などの学習の機会を提供します。

また、館内だけの講演ではなく、出前講座として県内市町村の文化施設での美術館の活動紹介や美術の楽しみ方講座、作品解説等を実施します。

## ○ 子供向け鑑賞会の実施

幼児・小学生・中学生・高校生を対象とした鑑賞会及び関連事業を開催します。

## ○ 鑑賞学習交流会の実施

企画展ごとに開催する、小・中・高等学校の教員を対象にした鑑賞学習交流会で、企画展の説明を行います。あわせて美術館の利用案内や鑑賞学習法の実践的な研修を実施し、教育現場の教師と情報や意見の交換を行って、児童生徒の美術館利用の促進を図ります。

また、鑑賞学習交流会の活動に加えて、鑑賞学習への理解を深めるための研究会「鑑賞学習ワーキンググループ」の活動を行います。美術館で開催する教育事業への協力や学校現場での鑑賞学習を実践し、またその内容を鑑賞学習交流会でも報告します。

## ○ 視覚障害者への対応

視覚障害者を対象に、点訳資料や立体コピーなどの補助資料を作成し、ボランティアと協力して鑑賞会を実施します。

## ○ 先端的な映像表現の作品の制作等

国内で例のない、先端的な映像表現のオリジナル映像作品を制作するとともに、実験的な映像表現を映像プログラムで紹介します。

## ○ 美術教育の普及活動

「移動美術館<sup>6</sup>」、「サテライト展示<sup>7</sup>」など、館外でのコレクションの公開にも積極的に取り組み、誰もが美術作品を楽しめるよう、幅広い教育普及活動を展開します。

## ④ 愛知県陶磁美術館の充実

### 【現状と課題】

- 愛知県陶磁美術館は、美術的、歴史的、産業的に貴重な陶磁資料の保存を図り、陶磁文化の普及・向上と陶磁器産業の振興に寄与するため、陶磁器及び陶磁器に関する資料の収集、保存、展示及び調査研究並びに県民のやきものづくり体験の事業を行い、生涯学習関連施設としての役割を担っています。一方で生活様式の変化などで陶磁離れが進んでいることから、展示事業、陶芸館事業及び教育普及事業に組み込み、陶芸に対する学習機会の提供に努めていくことが必要です。

### 施策の展開

## ○ 展示事業による鑑賞機会の提供

<sup>6</sup> 移動美術館：県美術館と県陶磁美術館及び開催館、開催自治体が主催者となり、県内市町村の施設で両美術館のコレクション（所蔵作品）を展示する展覧会。

<sup>7</sup> サテライト展示：県内の美術館・博物館等が主催となり、県美術館のコレクションを活用して、主催館の常設展や小規模企画展の一部あるいは全体を構成するもの。

陶磁の歴史を系統的に理解できる常設展や、様々なテーマによる特別展及び企画展の実施により、県民の鑑賞機会の提供に努めます。

## ○ 陶芸館事業による陶芸体験機会の提供

陶芸館では陶芸指導員の指導により、利用者が希望に応じて自由に作陶体験できる陶芸実習（通年）や、復元古窯焼成、ふれあい陶芸、受講者のレベルに合わせた陶芸教室等の実施により、陶磁文化を体験する機会の提供に努めます。

## ○ 教育普及事業の実施による陶芸に対する学習機会の提供

展覧会の理解をより深めるための講演会、シンポジウム、ギャラリートーク、各種教育講座の実施や、小・中学校の学校利用、学校出前講座、地元自治体・近隣大学・周辺文化施設等との連携事業の実施により、陶芸に対する学習機会の提供に努めます。

## ○ 県民参加型の文化芸術活動の展開

県立芸術大学、愛知県児童総合センターなどとの連携の可能性を検討し、県民参加型の文化芸術活動の展開に取り組みます。

## ○ 所蔵作品の有効活用

県内の美術館や博物館を始め公共施設等をサテライト展示場として利用するなど、所蔵作品の有効活用を図ります。

## ⑤ あいち朝日遺跡ミュージアムの充実

### 【現状と課題】

- あいち朝日遺跡ミュージアムは、東海地方最大の弥生集落である「朝日遺跡」の発掘調査によってもたらされた出土品を展示・公開する目的で2020年11月に開館しました。
- 出土品の2,028点が国の重要文化財に指定されていますが、多彩な出土品は、東海地方を代表する弥生時代の大規模集落の出土品一括として、弥生時代の生活、文化を知る上で、全国的にも貴重な資料となっています。  
今後は、調査研究、展示教育普及等の強化と更なる魅力の発信が求められています。

### 施策の展開

## ○ 展示

本館基本展示室では、ジオラマ模型、映像、出土品を通して朝日遺跡の概



要を紹介しています。企画展示室では、テーマを変えて最新の弥生時代の研究や発掘調査、地域の歴史文化を紹介する企画展を開催します。また、他にも弥生時代の道具体験ができるキッズ考古ラボや史跡貝殻山貝塚を紹介する別館史跡貝殻山貝塚交流館のガイダンス室などを開設します。

## ○ 普及

弥生文化や考古学をテーマとした講演会、講座、体験水田での米づくりに関連した体験講座、勾玉づくりや火起こしが体験できる古代体験プログラムなどを開催します。また、主に小学校を対象とした学校博物館等のアウトリーチ事業を実施します。

## ○ 調査研究

朝日遺跡、弥生文化を中心に調査研究に取り組み、「研究紀要」や企画展等を通して学術的な成果を公開します。

## ○ 収集保管

重要文化財「愛知県朝日遺跡出土品」を含む朝日遺跡の出土品、調査記録を適切に保管、活用します。

## ○ 地域連携事業

清洲城や名古屋市守山区の「体感！しだみ古墳群ミュージアム」などの地域の文化施設、観光施設との連携を図り、地域振興に資する活動を行います。

### 朝日遺跡

清須市、名古屋市西区にまたがる朝日遺跡は、弥生時代を代表する遺跡の一つです。東西1.4km、南北0.8kmに及ぶ広大な範囲からは数多くの住居跡、墓が見つかり、有名な佐賀県吉野ヶ里遺跡にも匹敵する巨大な集落です。

美しく飾られた赤い土器、細かな装飾を施した骨角製の装飾品、特別な祭器である銅鐸などの出土品は、東海地方の弥生文化を代表する重要な考古資料となっています。



## 5 計画の進行管理

この計画の進行を管理するため、毎年度、施策の展開方向に位置づけた主要事業の進捗状況を点検し、より効果的な教育施策の企画・立案などに活かすとともに、客観的な根拠により県民への説明責任を果たすために、わかりやすい指標を設定し、毎年度、点検・評価し、計画の着実な推進を図ります。

